

宮澤・レーン事件を語り継ぐつどいのお知らせ

宮澤・レーン事件を考える会

常日頃から当会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年も7月に上記の集いを開催しますので、同封のチラシにてお知らせいたします。

ぜひ、ご参加ください。

なお、同日午前にレーン先生ご夫妻の「墓前礼拝」が円山墓地にて行われます。

レーン先生ご夫妻は1943年に日米交換船で帰国しますが戦後再び北大に招聘され、生涯英語教育に尽くされました。ハロルドさんは1963年8月7日、ポーリンさんは1966年7月16日に亡くなり、天逝した長男とともに円山墓地に眠っています。毎年この時期に、北光教会主催で墓前礼拝が行われ、考える会の仲間も参加しています。

ご夫妻のお墓を訪ねてみませんか。

参加希望の方はチラシにある連絡先にご連絡ください。お墓は上部のわかりづらいところですので待ち合わせて案内しますので必ずご連絡ください。

エ

7月12日(月) 11時～12時 墓前礼拝 (10時半～ お墓の掃除)

集合：10時30分 円山墓地入り口信号機付近(中央区南4条西28丁目)

※地下鉄円山公園駅より徒歩10分 環状通りを挟んで龍興寺の向かい
駐車は龍興寺の駐車場の使用してください。許可を得ています。
少し登ります。



戦後 80 年 戦争をする国にさせない

宮澤・レーン事件を語り継ぐつどい

戦時下の宗教統制と弾圧

道内キリスト教会の戦争責任と戦後の歩み

2025 年 7 月 12 日(土) 14 時～16 時 30 分

(開場 13:30)

会場:札幌北光教会 札幌市中央区大通西 1 丁目 14 TEL011-241-3614

講演 1 「戦後 80 年 戦時下の教会を取材して」

伴野 昭人氏 (北海道新聞報道センター編集委員)

講演 2 「『世にある教会』を目指して

— 豊平教会の分かち合い活動と平和」

稲生 義裕氏 (日本キリスト教会豊平教会牧師)

講師プロフィール

伴野昭人 (ばんの・あきひと) 氏

1964 年北海道生まれ。90 年北海道新聞社入社。論説委員、文化部長などを経て昨年 4 月から現職。元宮内庁担当。戦後 70 年の時は天皇の海外慰霊に同行取材。

著書に『マッカーサーへの 100 通の手紙』『北海道開発局とは何か』など

稲生義裕 (いのう・よしひろ) 牧師

東京都新宿区出身。東京神学大学から日本基督教団牧師を経て、日本キリスト教会牧師。74 歳。

地域の人々との連帯を求めて、食べ物分かち合い活動、会堂を地域の共有財としていく取り組みを続けている。教会の戦争責任の受け止めが動機の一つになっている。

資料代 500 円 予約・問合せ メール yutaka.t.00000@gmail.com ☎090-2818-9774 田中豊

主催 宮澤・レーン事件を考える会 共催 札幌北光教会平和・人権委員会

カトリック札幌教区正義と平和協議会